



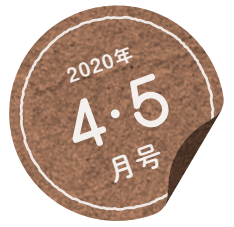
新しいエコのカタチ、はじまる。



環境省

エコジーン

VOLUME.76



福島再生の今、これから

REMINDER FU·KU·SHI·MA

特集 **Re:ふくしま**

[エコジーン・インタビュー] なすび / [第2特集] 人と動物が共生する社会

エコジン

2020年4-5月号

デザイン / ナオイデザイン室 Cover写真 / 千倉志野



除去土壌の再生利用を目指す
実証事業で育てているトルコギ
キョウ。地域の人々の復興への
期待が込められています



エコジンとは、“エコロジー+人”、“エコロジー+マガジン”のこと。
環境のことを考える人が一人でも多くなることを目指す、
環境省発信のエコ・マガジンです。

contents

06



特集

Re:ふくしま

福島再生の今、これから

03



エコジン・インタビュー

なすび

「地道にコツコツ、
自分の一生をかけて
福島の復興に
力を尽くします!」

20



課題解決ストーリー エコ・サクセス Vol.12
天栄米栽培研究会

22



エコ、作ってみた! Vol.06
針金ハンガーを組み合わせて
猫テントを作る

16



エコの鍵

人と動物が
共生する社会

24



ECO KNOWLEDGE Vol.12
生物多様性って?

H
U
M
A
N
S

レジ袋有料化が今年7月1日から
全国一律でスタートします!

近年世界的課題となっている
海洋プラスチックごみ問題など
の解決に向けた取り組みの第一
歩として、今年7月1日から全国
一律でレジ袋有料化がスタートし
ます。レジ袋有料化をきっかけ
に、一人ひとりが普段のライフ
スタイルを見直し、不必要な使い
捨てプラスチックの削減、ひいては
海洋プラスチックごみ問題をはじ
めとする地球環境問題の解決に
向け、ご協力をお願いします。



<http://plastics-smart.env.go.jp/rejibukuro-challenge/>

「生物多様性」について考え、
行動してみましょう

5月22日は国連が定めた「国際生物多様性の日」であり、
生物多様性関連イベントの開催などが奨励されています。生
物多様性条約事務局の呼びかけで5月22日に世界各地で行
われる植樹は、地球上の東から西へ波のように広がっていく
ことから「グリーンウェイブ」と表現され、日本でも多くの方
に参加いただいています。
5月22日をきかっけに、生
物多様性について考え、
行動してみましょう!



「東北復興グリーンウェイブ」福島
での活動の様子

<https://www.env.go.jp/press/107604.html>



地道にコツコツ、自分の一生をかけて
福島の復興に力を尽くします！



なすび

約20年前、テレビ番組の企画で懸賞生活を実践し、

一躍有名になったタレントのなすびさん。

出身地である福島の復興を支援するにあたり、

懸賞生活で自覚した自身の性格をベースに「自分らしい支援」を続けています。



「発災当初、芸能人の方々が何千万円という義援金を送ったり、トラック何台分もの支援物資を送ったというニュースを見るたびに、自分が同じようにできない無力感さいなに苛まれました」と切り出したなすびさん。福島市出身で、両親も福島県内出身のため『生粋の福島県人』と自身を称します。地元のテレビやラジオ番組にも多数出演し、福島の人からたくさんの応援を受けて、タレントとして頑張ってきたと言い、「それなのに」という焦りが強かったと当時を振り返ります。それでも自分ができることをしようと、コツコツとボランティアを続ける日々を送っていたそうです。

「福島は地震というより原発事故のイメージが強く、風評被害がとても大きかったです。以前、農産物を福島の人と一緒に売っていた時、いくら検査して安全なものを持ってきていますと言っても、買うことをためらう人がいました。『安全』を客観的な数値で示せても、買い手の主観である『安心感』を生むのはとても大変で、これは長期戦になるなど強く感じました」

ある時「時間がたって、支援の手が薄れてきたのに、こうして足を運んで来てくれるのがうれしい」という言葉をもらったことで、それぞれが自分らしい支援をすればいいのだという気持ちになれたのだと言います。

「懸賞生活をしていた時に1日に200～300枚のハガキをただただ書き続ける生活ができたということが、『一つのことをコツコツ続けられる』という自信を僕に与えてくれていたんです。だからそれなら不器用な僕でもできると、やっと自分らしい支援のかたちを見つけられた、『自分の出番が回ってきた』と思いました(笑)。たとえ地味で小さなことでも、地道にコツコツ、自分の一生をかけて福島の復興に力を尽くそうと思っています」

なすびさんが思う福島の良さは、北海道、岩手県に次ぐ全国第3位の広大な土地が、太平洋側の浜通り、山に囲まれた会津、その間にある中通りという3つのエリアに分かれ、それぞれが特徴ある文化や風土を持っているということ。「冬になると2～3mも雪が積もる会津の檜枝岐村があるかと思えば、温州ミカン栽培の北限で、最近はバナナの栽培も行われている温暖





震災からの復興は、かなう。
諦めないこと、それが大切。

な広野町もあるという、とても自然豊かで個性があるところ。海も山もあって風土がいいから米・野菜・果物・魚介・酒と何でもおいしい。だから多くの人に福島の農産物を安心して食べてもらいたいです」

イメージを復活させるには時間がかかっても「諦めなければ復興は達成できる」と、なすびさんは自信を持って言います。それは登山未経験だった自身が、4回目の挑戦で世界最高峰のエベレスト踏破を果たした経験によるもの。

「ちょっとしたきっかけでエベレストにチャレンジする気持ちが芽生え、登ってみたら、やっぱり難しくて。雪崩にも巻き込まれたり、何度も挫折して阻まれて『3度目の正直』もかなわなかった。けれどそれでも諦めずにチャレンジしたら、素人の僕でもエベレストの頂上に立つことができました。それと震災からの復興が同じだとはとても言えません。けれども諦めず、チャレンジし続けることで得られることがあるということを伝えたいのです」

体験したからこそ、わかることがある。だから多くの人に、福島の今を、ネットやテレビで見聞きするだけでなく、訪れて感じてほしいと言います。「福島の人とはとっつきづらいかもかもしれませんが、気持ちの優しい人ばかりです。食べ物もおいしいし気候もいい。最近は訪れた人が福島を気に入って、移住することもあると聞いています。いろいろなところに転がっている福島の良さを、ぜひ来てみて、体験してみてください」

なすび 福島県出身。俳優・タレント。1998年から日本テレビ系列で放映された『進め!電波少年』の「電波少年的懸賞生活」のチャレンジャーに。その後、劇団「なす我儘」を立ち上げ、舞台を中心に活動。「福島に元気と勇気、夢と希望を」との思いでエベレスト登頂を志し、2016年5月、4度目の挑戦で成功する。

🎁 PRESENT!

なすびさんのサイン入り写真を、エコジーン・アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1名にプレゼントします。



REMINDER FU·KU·SHI·MA

特集

Re:ふくしま

福島再生の今、これから

東日本大震災発生から9年。

今年の3月には、全町避難が続いていた福島県双葉町で一部区域の避難指示が解除され、

全域で避難指示が出ている市町村がなくなりました。

本来のにぎわいを取り戻しつつある福島は今、

再生に向かって新たな一歩を踏み出しています。

写真／千倉志野(P6-7)





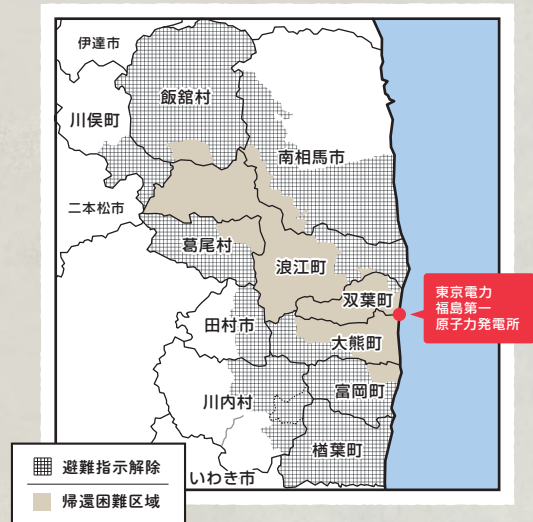
:FUKUSHIMA NEWS 2020 :

みんながまた安心して暮らせる地域となるように
福島環境再生への取組は一步一步着実に進んでいます。

NEWS 01 双葉町・大熊町・富岡町の一部避難解除

避難区域の状況(2020年3月10日時点)

原 発事故後、福島県内の11市町村に国の避難指示が出され、2014年4月以降に順次解除されてきた。その中で唯一全町避難が続いていた双葉町の一部について、2020年3月4日に避難指示が解除された。放射線量の高かった帰還困難区域では初めての一部避難指示解除となった。また、3月5日には大熊町、10日には富岡町の帰還困難区域の一部区域の避難指示が解除。現在、6町村(双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村)の「特定復興再生拠点区域復興再生計画」で設定した「特定復興再生拠点区域」について、住民の帰還に向けた除染やインフラ整備

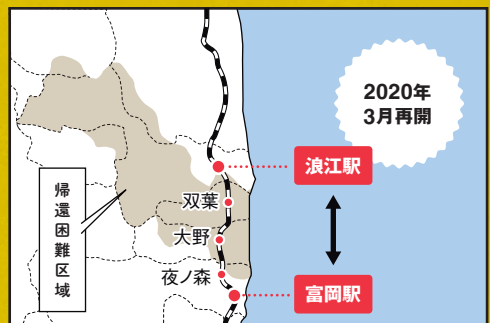


が進められており、2023年春頃までにはすべての町村での避難指示解除を目指している。

TOPICS

JR常磐線が全線開通

東日本大震災と原発事故の影響により一部区間で運休が続いてきたJR常磐線。運休区間は段階的に解消され、最後に残されていた福島県内の富岡—浪江間でも2020年3月に運転を再開。9年ぶりの全線運転再開となった。



NEWS 02

中間貯蔵施設への輸送、進行中

原 発事故後、放射性物質による汚染が確認された地域では、順次、除染作業が進められ、2018年3月までに帰還困難区域を除き面的除染が完了した。

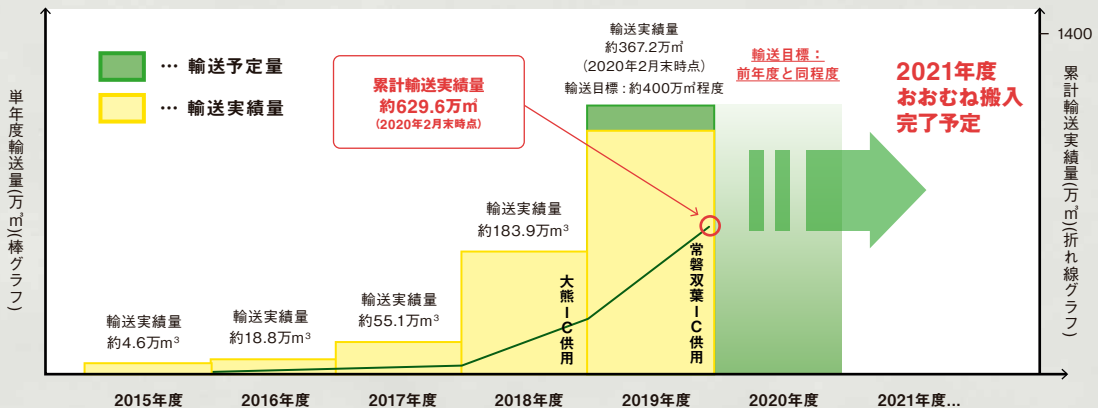
除染に伴い発生した放射性物質を含む土壌や廃棄物、福島県内の10万ベクレル/kgを超える特定廃棄物などは、最終処分を待つまでの間、大熊町と双葉町に整備された「中間貯蔵施設」で安全に集中的に管理・保管されることになる。県内の仮置場などからの除去土壌等の中間貯蔵施設への輸送は、2015年3月に開始。2017年6月に除去土壌の分別を開始し、同年10月には分別した土壌の貯蔵を開始した。2020年2月末までに累計約630万m³が中間貯蔵施設に搬入され、仮置場の約半数以上が解消されている。今後は処理・貯蔵をさらに進めるために、引き続き用地取得や施設の整備を進め、2021年度までに帰還困難区域を除く県内の除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入



中間貯蔵施設（大熊町・双葉町）。中間貯蔵施設区域は約1,600haあり、千代田区の面積の約1.4倍に相当する。

をおおむね完了させる予定。これらの事業は、環境省が定めた「2020年度の中間貯蔵施設事業の方針」に沿って、安全第一に、地域の理解を得ながら進められる。また、除去土壌等の福島県外最終処分に向けて、最終処分量の低減を図るため、減容化と再生利用等に関する取組の一つとして、南相馬市と飯館村において、除去土壌を再生資材化し、試験盛土の造成等を行うといった再生利用の安全性を確認する実証事業を実施している。

中間貯蔵施設への除去土壌等の当面の状況



(出所) 2015～2019年度の輸送量実績及び2020年度の中間貯蔵施設事業の方針で示した2020年度の輸送量(予定値)を追記。

福島再生・未来志向プロジェクト

福島ニーズに応え、分野横断的に支援

福島復興の新しいステージに向け、環境省が2018年8月にスタートした「福島再生・未来志向プロジェクト」。これまで環境省が行ってきた除染や汚染廃棄物の処理といった環境再生の取組に加え、脱炭素・資源循環・自然共生などの環境省の得意とする分野においても福島の復興に貢献している。

「福島再生・未来志向プロジェクト」で取り組む4つの分野

産業創生

— なりわいへの復興 —



浜通り地域を中心に新たな産業の創出を目指す「福島イノベーション・コースト構想」と連携し、資源循環型産業の創生を支援

- ・「大熊町リサイクルセンター」建設の支援
- ・先端リサイクル技術の実証、事業化に向けた取組の推進



大熊町リサイクルセンターの完成予想図
(相双スマートエコカンパニー)

脱炭素まちづくり

— 暮らしの復興 —



特定復興再生拠点区域のある自治体を対象に、復興まちづくりと脱炭素化の両立に向けた事業の実現可能性を調査し、脱炭素まちづくりを支援

- ・資源作物を用いた地産地消エネルギー供給事業の実現可能性の検討
- ・企業バスの共同利用などによるCO₂削減効果の検証
- ・ゼロカーボンシティへの支援



大熊町ゼロカーボン宣言の様子
(ゼロカーボンシティは2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す)

東日本大震災とそれに伴う原発事故により甚大な被害を受けた福島。復興・再生に向け、被災者支援やインフラの復旧、産業復興などさまざまな側面から取組が行われている。環境省はこれまで、除染や汚染廃棄物の処理など環境再生に向けた取組を進めてきた。これに加え、地元ニーズに応え、福島との連携をより強化していくため「福島再生・未来志向プロジェクト」が2018年8月にスタートした。

このプロジェクトでは、環境技術を生かした産業創生、再生可能エネルギーの活用や脱炭素技

術の導入を通じた脱炭素まちづくり、国立・国定公園などの自然資源の活用を効果的に組み合わせ、福島県や関係自治体、民間団体と連携して、さまざまな事業を進めていく。また、放射線健康不安に対するリスクコミュニケーションや地域の魅力発信など広報活動の支援にも取り組む。このプロジェクトを通して、コミュニティの再生、最先端の環境技術を用いた地域づくりと地域循環共生圏の構築、そして、世界に向けた福島の風評払拭を目指している。

ふくしまグリーン復興

— 自然資源活用による復興 —



福島県の豊かで多様性に富んだ自然環境を生かした交流人口の拡大により、復興を支援

- 国立公園・国定公園の魅力向上
- 只見川の国定公園編入を目指した取組
- ロングトレイルなどの県内を周遊する仕組みづくり



尾瀬沼ビジターセンターの完成予想図

地域活性化

— リスクコミュニケーション・情報発信による復興 —



住民の放射線による健康不安を解消するための相談支援や、福島の魅力を発信するシティプロモーションの支援

- 福島県外の大学生が地域の文化・歴史・暮らしなどを記録する「聞き書き」プロジェクト
- 特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」における放射線学習
- 新宿御苑で行われるイベントでの福島PRブースの出展



新宿御苑でのイベントの様子

阿武隈山系の自然に囲まれ、花卉栽培や畜産が盛んだった飯館村。村内唯一の帰還困難区域である村南部の長泥地区で今、放射能濃度の低い除去土壌を資材として再生し、盛土を造成して農地として利用する実証事業が進んでいる。

飯館村長泥地区における除去土壌再生利用実証事業

除去土壌を再生利用し農地へ。復興を願う地域住民とともに

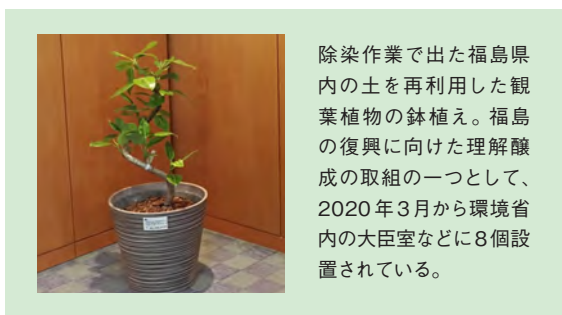
長泥地区での除去土壌再生利用実証事業は、2017年11月に飯館村、長泥行政区、環境省が実施に合意し、2018年9月にスタートした。

除去土壌は、土のう袋の放射能濃度を一つずつ測定し、1kg当たり5,000ベクレル以下のものを選び、石や枝を取り除き、水分量や粒度を調整して再生資材化している。再生資材の上に汚染されていない土をかぶせて造成した盛土では、バイオマス原料となるジャイアントミスカンサスなどの資源作物を試験栽培。刈取り後、作物への放射性セシウムの移行について分析した結果、露地栽培の資源作物の放射能濃度は、安全評価での想定を下回る十分安全側の結果が得られた。



「この事業は、地元の方と密にコミュニケーションを取りながら進めることを大事にしています」。福島地方環境事務所土壤再生利用推進室の百瀬嘉則室長は、そう力を込める。地域の代表者が参加する飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会などにより定期的に意見交換し、試験栽培には住民が「農業のプロ」として参画、知恵を貸している。

今後、地区内での農地造成に着手するとともに、除去土壤の再生利用の事例として取組を広く発信していく。住民からは「世界で初めてのことをやるんだから、他の地域の模範になるような素晴らしいものにしたい」という声も強く、長泥地区の復興につながる事業として大きな期待が寄せられている。「その思いを受け止め、私たちも地域のみなさんと一緒に頑張っています」(百瀬室長)。



除染作業で出た福島県内の土を再利用した観葉植物の鉢植え。福島の復興に向けた理解醸成の取組の一つとして、2020年3月から環境省内の大臣室などに8個設置されている。



試験栽培までの流れ

①：再生資材化

ストックヤードで放射能濃度を測定し、1kg当たり5,000ベクレル以下に選別した土のう袋から土を取り出し、異物の除去、水分量や粒度の調整などを行う

②：盛土の造成

出来上がった再生資材の上に汚染されていない土を50cmの厚さでかぶせて盛土を造成する

③：栽培の実施

盛土の完成後、耕起やうね立てなど、農地として使うために必要な手入れをした上で、資源作物などの試験栽培を行う



NEXT STEP

今夏から大規模な農地造成

実証事業での結果を踏まえ、今年の夏頃から、地区内に設定した「農の再生ゾーン」の一部で、再生資材を使った大規模な農地造成工事がスタートする。最終的には、候補地の34ha(今後変更となる場合がある)を農業ができる状態に整備していく予定。



INFORMATION

福島県相馬郡飯舘村
長泥地区

【教えてくれた人】

百瀬嘉則さん

YOSHINORI MOMOSE

環境省 福島地方環境事務所
中間貯蔵部中間貯蔵総括課
土壤再生利用推進室室長

再エネの体験学習を通して 未来の福島を担う人材を育成

あすびと福島

震災発生から2年後の2013年、一般社団法人あすびと福島は、津波被災農地に建設した南相馬ソーラー・アグリパークでユニークな体験学習を開始し、地元の小中学生のほぼ全員に、再生可能エネルギーを学んでもらうプログラムを継続して実施している。

あすびと福島は、南相馬市とともに建設した南相馬ソーラー・アグリパークにおいて、再生可能エネルギーの仕組みを体験できるプログラムを2013年から実施している。代表理事の半谷栄寿さんは、南相馬市の出身。福島の復興を志す

中で、将来にわたって復興を担う人材を育てるの必要性を感じ、子どもたちが考え行動する力を伸ばす体験学習を継続している。

太陽光発電パネルの向きや角度を変えて発電量の変化を知る「太陽光発電研究」や、水力発



NEXT STEP

カレンダーで福島の森づくりに貢献

「ふくしま復興応援カレンダー」は、1部につき150円が福島県内の人工林の間伐や間伐材の有効活用にあてられ、CO₂を吸収する健全な森づくりに貢献する商品である。あすびと福島は企業の社員研修にも力を入れており、毎年研修を実施している大手印刷会社が、2015年の研修中に生まれたアイデアから商品化し、制作・発売したものだ。2020年度までの4年間で、240万円が間伐の支援に活用され、32haの間伐につながるなど、企業の人材育成を通して福島の未来に貢献している。



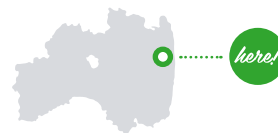
電装置を自分の力で直接回した発電量と自分の力でくみ上げた水の勢いを使った発電量を比べる「水力発電研究」など、さまざまな体験により再エネについて学ぶことができる。これまでに市内の小中学生延べ3,500人が学校の授業として参加。さらに、福島県内の高校生や大学生を対象にしたプログラムなども無償で行っている。

南相馬市は2030年までに、市内の消費電力と同じ量の電力を再エネで発電することを目指している。「再エネの普及にはソフト面の充実も大切です。子どもたちは学校の授業などで“なぜ再エネが大切か”を学びますが、その知識を実体験によって“腹落ち”させることが私たちの役目です」と

半谷さん。「体験を通じて、気候変動の防止と再エネを結びつけられるようになった子もいます。そうした主体的に考える力を引き出す場にしていきたいですね」。今後は首都圏の中高生を受け入れる予定もあり、体験を通じた再エネの普及、人材育成を広く展開していく。

INFORMATION

福島県南相馬市
原町区泉字前向15
<http://asubito.or.jp/>



【教えてくれた人】 **半谷栄寿さん** EIJU HANGAI
一般社団法人 あすびと福島 代表理事



エコをヒモ解く

KEY

ポイント!

エコの鍵

KEY POINTS FOR ECOLOGY

今回のKEY WORD

人と動物が共生する社会

動物の虐待や遺棄を減らすための新ルールが誕生

可愛いペットたちは私たちの生活に癒やしを与えてくれる大切な存在です。しかしペットを飼い始めたものの、虐待したり世話が面倒になり飼育を放棄してしまう人がいます。こうした不幸な事態を減らすため、2019年6月に「動物愛護管理法」が一部改正され、飼育や販売等に新たなルールが課せられることになりました。



＼これから動物を飼う人は要注意! /

知っておきたい新ルール

今回の改正の目玉といえるのが、犬猫の繁殖業者などに対する規制の強化。今後は生後8週に満たない犬猫の販売が禁止となり、販売の際はマイクロチップの装着が義務化されます。また、自治体の権限が拡充され、業者、一般の飼い主に関わらず、飼育によって周辺的生活環境が損なわれていると認められる場合は、立入検査や指導、助言などを行うことが可能となります。飼い主に対してもみだりな

殺傷・虐待や遺棄の罰則が強化され、これまでは犬猫を虐待・遺棄した場合は罰金刑のみでしたが、今後は1年以下の懲役または100万円以下の罰金が課せられることになります。さらに愛玩目的での特定動物(人の生命・身体などに害を加えるおそれのある動物)の飼育も禁止に。こうした新ルールはマイクロチップの装着などの一部規定をのぞき、2020年6月1日から施行される予定です。

専用の注射器で動物の皮下に埋め込む小さなカプセル状の電子標識器具

愛玩目的での飼養が禁止となる特定動物(一例)



ソウゲンワシ



サーバルキャット



ワニガメ



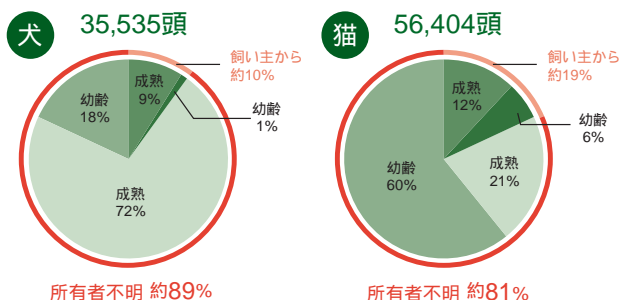
年間4万頭近くの犬猫が殺処分に 犬猫を取り巻く現状

自治体(保健所や動物管理センターなど)に引き取られる犬猫の数は年々減少しています。とはいえ、迷子や逸走などで所有者不明となったり、飼いきれなくなって遺棄されたりと、今年年間約9.2万頭(2018年度)の犬猫が自治体に引き取られています。引き取り数の内訳を見ると、犬が約3.6万頭、猫が約5.6万頭。犬の場合は所有者不明の成犬、猫の場合は所有者不明の子猫が多くの割合を占めています。引き取られた犬猫のうちの約58%は飼い主に返還される

か、新たな飼い主へと譲渡されますが、引き取り手が見つからなかった残りの約42%(約3.8万頭)は、やむなく殺処分となっているのが現状です。

犬猫の引き取り数の内訳(2018年度)

出典:動物愛護管理行政事務提要



命を預かるという意識を持つ 共生のために不可欠な 「愛護」と「管理」

殺処分を減らすには、行政側が厳しいルールを定めることも必要ですが、それ以上に大切なのは、すべての飼い主たちがそれぞれのペットの命に責任を持ち、適切な管理を行うことです。例えば逸走した時のことを考えてマイクロチップを装着しておくだけでも、ペットの命を救うことになります。今回の法改正では、飼い主に対してはチップの装着は努力義務となっていますが、まだチップを装着していないのなら、この機会に装着を考えてみてはいかがでしょうか。また不妊去勢手術も、不幸な命を生み出さないようにするという面で命を守ることに繋がっています。人と動物が

共生する社会を実現するには、ただ可愛がるだけでなく、正しく飼育するという姿勢が大切なのです。



マイクロチップを読み取ると逸走時でも身元がわかるため、飼い主への返還率が高い





動物たちの命を守るために今、私たちができること

KEY PERSON



廣瀬章宏さん

公益財団法人日本動物愛護協会 理事・事務局長

私たち日本動物愛護協会は「動物の命を守る、命の大切さを知ってもらい、社会への提言を行う」の三つを柱に、昭和23年から活動を続けている日本で最も歴史のある動物愛護団体です。おかげさまで動物愛護の精神は、国民のみなさんに徐々に浸透しつつあるようで、殺処分される犬猫の数は年々減少しています。しかし、まだまだ安心はできません。殺処分数は確かに減ってはいるものの、これは犬猫の引き取り・譲渡を行う自治体や民間の保護団体の活動が盛んになったため、虐待されたり遺棄される犬猫の数は、それほど減っていないのではないのでしょうか。

こうした状況を改善するために2019年法改正が行われ、動物の飼育、販売、遺棄や虐待などに関する新たなルールが定められました。とはいえ、いくら立派なお題目を掲げても、それを実行に移さ

なければ何も変わりません。動物の命を本気で守ろうと思ったら行政だけでなく、事業者、飼い主、すべての国民が一丸となって「人と動物が共生する社会」の実現に向けてアクションを起こしていく必要があります。

では、動物たちの命を守るために今、私たちは何をすべきなのでしょう？すでにペットを飼っている人たちに心がけてほしいのが、適正飼養・終生飼養（動物の命が終わるまで責任を持って面倒をみること）の徹底です。ペットが高齢になって介護が必要になってくると「世話が大変だから」「医療費がかかりすぎるから」といった理由で処分を希望する飼い主がいますが、最期までペットに寄り添う覚悟のない人には動物を飼ってほしくありません。

そうはいつでも本人の意思とは関係なく、病気や不慮の事故でペットを飼い続けることが困難に

☑ 飼い主に必要な10の条件

1. 住宅がペットを飼える状況にあること
2. ペットを迎えることに家族全員の同意があること
3. 動物アレルギーの心配がないこと
4. そのペットの寿命まで飼育（終生飼養）する覚悟があること
5. 世話する体力があり、その時間をさけること
6. 高齢になったペットの介護をする心構えがあること
7. 経済的負担を考慮すること
8. 必要なしつけと周囲への配慮ができること
9. 引っ越しや転勤の際にも継続飼養する覚悟があること
10. 飼えなくなった場合の受け皿を考えておくこと

☑ 飼い主に心がけてほしいこと

[頭数を増やしすぎない]

[猫は室内飼いが原則]

[不妊去勢を済ませておく] [体調管理は飼い主の務め]



一人ひとりが幸せにできるペットの数は限られています。無理な頭数を飼育すると多頭飼育崩壊につながり、飼い主もペットも幸せになれません。



飼い猫を外に出すと、虐待や交通事故、他の猫とのけんかや接触によりけがや病気に感染し命を落とすことも。長く安心して暮らすために室内飼いが原則です。



不必要な繁殖を防ぎ、性的な欲求不満へのストレスから解放され、問題行動も予防。さらに健康面でも、生殖器系の病気(炎症や腫瘍)が軽減されます。



ペットの体調は飼い主がしっかり管理し、定期的に健康診断を受けましょう。

なる場合もあります。高齢者が体調を崩して入院し、飼っていたペットが動物管理センターに持ち込まれるケースも最近は増えています。こうした不幸な事態を防ぐために「私にもしものことがあったら、この子の世話をお願いします」と、親戚や近所の人に頼んでおくなど、万一の場合に備えた対策をとっておくことも飼い主としての責任です。

近年は地震や洪水など自然災害が頻発しているため、災害時にペットの命をどう守るかについても飼い主は考えておかなばなりません。「ペット受け入れ可能な避難所とルートを事前に調べておく」「無駄吠えしないようにしつけておく」「ケージに慣れさせておく」「行方不明になっても再会できるようにマイクロチップや迷子札を装着しておく」「いつものフードや薬を1週間分ほど備蓄しておく」など、日ごろから災害時を想定したしつけや準備を心がけておくことが大切です。

また、これからペットを飼おうと思っている人たちにもお願いしたいことがあります。飼う前に「自分に動物を飼う資格や覚悟が本当にあるのか?」と

問いかけてみて、不安に思った場合は飼うのを待ってほしいのです。せっかく飼い始めたのに飼育を途中で放棄してしまうと、小さな命が不幸になってしまいます。愛するがゆえに飼わないという選択肢もあることをぜひ知っておいてください。迷ったときは「飼い主に必要な10の条件」(P18)を見ながら、チェックしてみることをおすすめします。



動物を飼うときは、
最後まで面倒をみる
という覚悟が必要です

廣瀬章宏

1965年生まれ。証券会社に勤務していた時代、自宅の前に捨てられていた子猫を保護したことをきっかけに命の大切さについて考えるようになり、ボランティアとして日本動物愛護協会の活動に参加。2012年に日本動物愛護協会入職。最近では、さだまさし氏を起用して話題を呼んだCM「にゃんぱく宣言」の制作を手掛けた。

START!



課題

中山間地域の自然豊かな環境で実る天栄米。炊きたてはもちろん、冷めてからもおいしいのが特長だ

米の価格は下がる一方。
農家が生き残るためには...

どこにでもある米では闘えない

福島県の南部に位置する天栄村では、自然の恵みを活かした農業が長年産業の中心を担ってきた。しかし、2000年代に米の流通自由化によって米価が下落。危機感を感じた村内の農家が、「どこにでもある米ではこれからは闘っていけない」との思いから味を重視した米を作ろうと考え、2008年2月、天栄米栽培研究会が発足した。

課題解決ストーリー

エコ★サクセス

エコに取り組み、目標を達成したサクセスストーリーを紹介します

Vol.12

天栄米栽培研究会

有機栽培などによる環境に配慮した米作りを続けている、福島県天栄村の「天栄米栽培研究会」。安全安心でおいしい天栄米は、昨年世界最大規模のコンクールで10回目の金賞に輝きました。

PROCESS

最初は手作業で除草

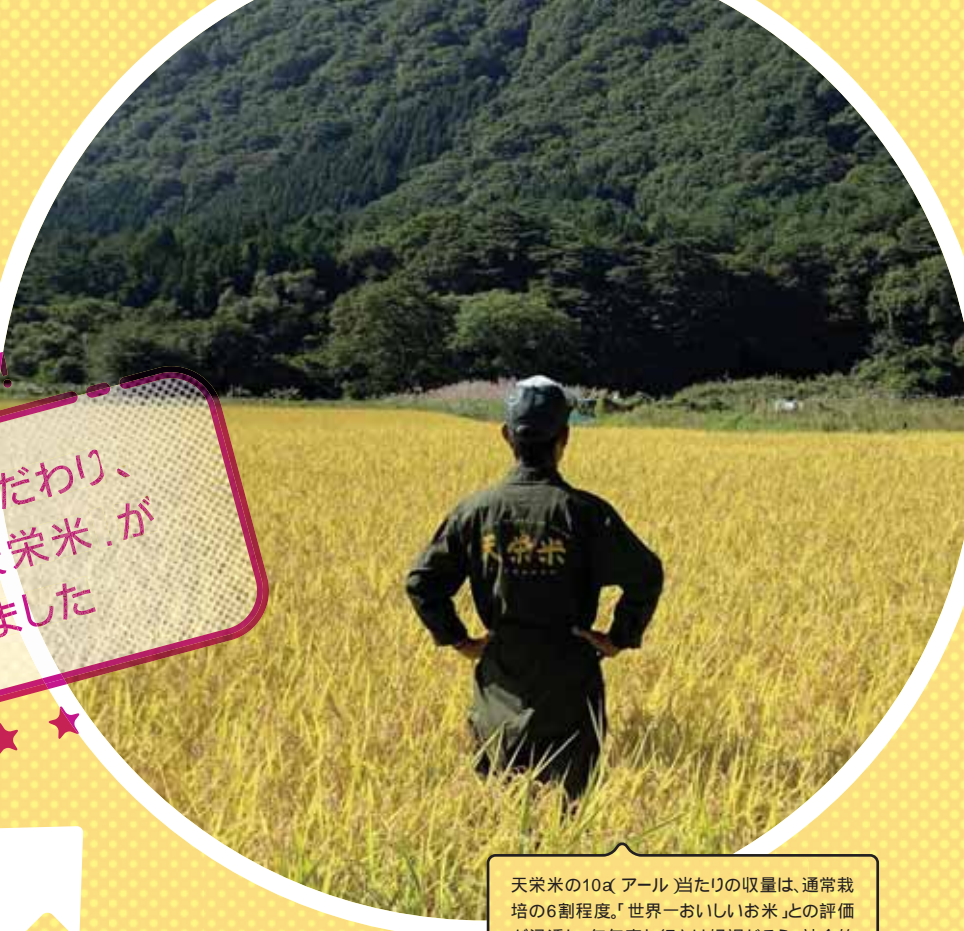
発足当初から取り組んでいるのが、漢方の煎じかすと有機肥料を使った無農薬の「漢方環境農法栽培」。除草剤を使わないため、最初の2年は手作業で雑草を取り除くのに苦労したそう。除草機を導入して負担を軽減し、さらに「漢方環境農法栽培を続けるうちに土の質が変わり、雑草も減ってきました」と天栄米栽培研究会の斑目義雄会長。おいしい米を作る努力が土壌にも好影響を与えている。



雑草が生えるのを防ぐため、水を張った田の上に紙を敷き、その上から田植えをする「紙マルチ栽培」を取り入れている

GOAL!!!

おいしさにこだわり、
世界一の「天栄米」が
生まれました



天栄米の10㍻アール当たりの収量は、通常栽培の6割程度。「世界一おいしいお米」との評価が浸透し、毎年売れ行きは好調だそう。社会的な評価が向上したことで研究会の会員の意欲や栽培技術も年々向上している

風評被害を乗り越え、世界一の天栄米に

天栄米は2008年、米の食味や品質を競う世界最大級の大会「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で初めて最高部門の金賞に輝き、その後も連続して金賞を受賞。11年3月、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故が発生したが、村が農地の放射性物質の除去にいち早く取り組み、その年も金賞を受賞することができた。

斑目会長は「原発事故後は目の前が真っ暗になりましたが、金賞が大きな励みになりました。風評被害を払拭するため、今も会員が各地に出向いて安全であることを伝えています」と語る。

手間をかけて栽培された天栄米は、おいしい米として年々知名度も高まり、昨年のコンクールでは10回目の金賞受賞という快挙も達成した。

「世界一の米を生産している自負を持ち、今後も自信を持って活動していきたいですね」と斑目会長。安全でおいしく、環境にもやさしい米作りに、これからも実直に取り組んでいく。



SUCCESS HINT !

毎月勉強会を開き 品質を向上・均一化

発足以来、毎月欠かさず勉強会を開き、栽培に関する話し合いを重ねて品質の向上と均一化を図っている。「意見がぶつかってもみんなで答えを出し、田植え前には全員が同じ方向を向いています」と斑目会長。会員が気持ちをひとつにしてブランド力を維持している。

＼ 尼神インター渚がチャレンジ!! /

エコ、作ってみた!

実は昔、大工を5年やっていたという、尼神インターの渚さん。
渚さんと一緒に、身近な素材でDIYできる「エコグッズ」を作ってみましょう。

写真 / 石原敦志



お題 ▶ 針金ハンガーを組み合わせて猫テントを作る

MATERIAL



【材料】 針金ハンガー(2~3本)
Tシャツ 段ボール

【用意するもの】 マスキングテープ
ニッパー/キリ/安全ピン

衣

類のクリーニングなどでいつの間にか増えて
しまう針金ハンガー。クローゼットの奥で眠
りがちなハンガーを使ってネコ用テントを作ります。
通販の買い物でたままった段ボールや、着なくなった
Tシャツなど、再利用できるものもたくさん。リコー
ス品の良さを活かして、ネコが安心してくつろげる
個性あふれるテントを作ってみましょう!

TEACHER



tukuriba 二子玉川店
長野恵理さん
<http://tukuriba.jp/>

STEP

1

段ボールをカットして
テントのベースを作る

START!



まずは段ボールを1辺40cmと38cmの2枚の正方形にカット。小さい方を上に重ねて、段差を滑らかにするように上の段ボールの端を手でつぶしながらマスキングテープで留めます。

STEP

2

針金をカットして
U字型に伸ばす

TOOLS



ニッパーを使って2~3本の針金ハンガーのフック部分をカット。針金をゆるやかなU字型になるように手で伸ばして、テントの骨組みになる部分を作ります。



怪我防止のために軍手を
した方がええかも!

STEP 3 段ボールに針金をつけて テントの骨組みを作る



重ねた段ボールの四方4～6か所にキリで穴を開け、対角の穴に針金を通していきます。針金が交差する頭頂部と段ボールの裏側で折り曲げた部分は、マスキングテープで留めて固定します。



STEP 4 テントの骨組みに Tシャツをかぶせる



襟ぐりや首の穴はヨロヨロじゃない方が
テント穴が張りやすくて

出入り口となる襟ぐり(首の穴)が正面にくるようにTシャツを骨組みにかぶせ、ネコが入りやすい位置に穴がくるように調整します。



STEP 5 安全ピンでTシャツを固定し テントを張る



余ったTシャツの裾の部分などを底面に折り曲げて、安全ピンで留めます。テントの形がここで決まるので、しっかりTシャツを引っ張って形の良いテントにします。



STEP 6 ネコが目をとめやすい 装飾をしたら完成



ネコがジャレやすいフリンジを首回りに両面テープで留めるなどして、テントを飾ります。Tシャツの柄を活かしたり、シンプルなテントが好きなら<STEP5>で完成させてもOK。



命名 | どんなネコもキャット喜ぶ
どこでもキャットハウス

PROFILE 尼神インター 渚さん
1984年生まれ。2007年に相方の誠子と、お笑いコンビ「尼神インター」を結成。芸人になる前は地元で大工をしていた。

工具もほとんど使わんし、
再利用できるもんばっかで
お手軽に作れんで！

ECO KNOWLEDGE

知ると、得する賢くなる!

エコナレッジ

「エコぐま」と「ハカセくん」とエコなキーワードを楽しく学んでみよう!

イラスト/ナカオテッペイ



エコぐま

天真爛漫で好奇心旺盛なクマ。好物はアボカドとせんべい。



ハカセくん

知識が豊富で大人びている小学生。エコぐまのお世話係。



DO YOU KNOW?

生物多様性って?

守りたい 生き物の個性やつながり

生物多様性とは、地球上の個性豊かな生き物たちが、互いにつながり、支え合って生きていること。今、開発や乱獲、地球温暖化など、人間の活動が原因で急速に種の絶滅が進み、地球の生物多様性は危機に瀕しています。

生物多様性を守るため、2010年のCOP10では「陸域の17%、海域の10%が保護地域等により保全される」など20の個別目標からなる「愛知目標」が示されました。私たちも、旬のものを食べたり、身近な自然の中に出掛けたり、暮らしの中で生き物とのつながりを感じ、生物多様性を守るために行動していくことが大切です。

2020年は生物多様性にとって節目の年

愛知目標の最終年である2020年は、生物多様性の保全にとって節目の年です。国連生物多様性の10年日本委員会は、生物多様性に関するイベントなどを応援するキャンペーン「未来へつなぐ『国連生物多様性の10年』せいかりレー」を展開。これまでの取り組みの成果を次代へつなげていくため、大小さまざまな活動を広く発信しています。

生物多様性

で検索

今号の『エコジン』はいかがでしたか。今後の誌面づくりの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。

エコジン・アンケート ⇨ <https://ecojin.env.go.jp/eco/>

バックナンバーは、国立国会図書館HPでもご覧いただけます。
→ <http://www.ndl.go.jp>